

子宮がん術後再発に対して当院で放射線治療を受けられた患者様へ

量子科学技術研究開発機構では、当院における子宮がん術後腔断端部再発に対する画像誘導小線源治療（IGBT）を含む放射線治療の治療成績を明らかにすることを目的として研究を行っております。近年、子宮頸癌に対する根治的放射線治療において、IGBTの有効性が示されてきていますが、子宮頸癌あるいは子宮体癌の腔断端部再発に対するIGBTを用いた放射線治療の報告は非常に限られているのが現状で、その有効性と安全性を確認することがよりよい治療方法の開発に必要と考えております。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 子宮がん術後腔断端部再発に対する放射線治療の成績に関する後向き観察研究

[実施期間] 許可日～2022年3月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 QST病院治療診断部

[研究責任者] 松井 利晃

[研究の目的] 子宮がん術後腔断端部再発に対するIGBTを含む放射線治療の治療成績を明らかにすることです。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

2011年1月1日～2018年12月31日に、子宮がん術後腔断端部再発に対してIGBTを含む放射線治療を受けた方

●利用する情報及び利用方法

2020年11月30日までに得られた、治療開始時年齢、病気の情報、病歴、既往歴・合併症、身長・体重、Performance Status、治療情報、治療関連の有害事象、採血データ、画像データ、治療後転機等を当院データベース（AMIDAS）およびカルテより集計します。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

患者様の権利と安全を守り、データの信頼性を確保するために、専門家がカルテを確認することはありますが、外部と共有される研究データからは、お名前、ご住所、その他の個人を直接識別できる情報は削除します。また研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表にできることは接待にありません。（研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2020年11月30日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。この調査へのご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。この期間を過ぎると個人を識別できない情報は取り除けなくなることがありますが、その場合でも患者様の個人情報が公表されることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門

QST病院 治療診断部 松井 利晃 電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）